

衆議院経済産業委員会ニュース

平成 21.3.27 第 171 回国会第 4 号

3 月 27 日（金）第 4 回の委員会が開かれました。

1 我が国における産業活動の革新等を図るための産業活力再生特別措置法等の一部を改正する法律案（内閣提出第 25 号）

・参考人から意見を聴取し、質疑を行いました。

（参考人）全国中小企業団体中央会会長

草野グローバルフロンティア株式会社代表取締役

東京大学大学院経済学研究科教授

佐伯 昭 雄君

草野 豊 己君

藤本 隆 宏君

（質疑者及び主な質疑内容）

武藤 容治君（自民）

- ・我が国における技術の担い手は中小企業であるとともに、今後の経済成長のためには技術の維持が不可欠であると考えている。我が国において優れた技術を共有していくためには、いかなる方策が必要か。
- ・世界同時不況の中で、我が国の産業を残すための金融施策について、草野参考人の考えを聞きたい。

高木 美智代君（公明）

- ・我が国企業の資金繰りについては悪化の懸念があると考えられるが、今後の資金繰りを円滑化するための方策について聞きたい。また、産業活力再生特別措置法改正案の資本注入スキームは、十分であると考えられるか。
- ・今後、我が国はいかなる過程を経て景気回復をしていくのか。また、景気回復の場面において障害となるものは何であるか。

北神 圭朗君（民主）

- ・中小企業の資金繰り対策としてのセーフティネット貸付の実績があまり伸びていないが、政策金融機関の使い勝手や政策金融改革の影響について、現場の中小企業からどのような声が出ているのか。
- ・中小企業の海外販路開拓において、民間企業OBのより一層積極的な活用を図るべきと考えるが、藤本参考人が提唱される「ものづくり師範学校」の活用を含め、見解を聞きたい。

吉井 英勝君（共産）

- ・日本の貿易黒字が内需に回らず海外に投資された結果、サブプライムローン問題を深刻化させる一因になったとの指摘もあるが、草野参考人の考えを聞きたい。
- ・藤本参考人が重視する構想力や設計力といったものを十分に発揮するためには、確固たる現場技術力の維持が前提となるのではないか。